

自己評価報告書

平成 23 年 4 月 26 日現在

機関番号：17501

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2008～2011

課題番号：20592661

研究課題名（和文）一般病院・診療所における認知症看護プログラムの開発

研究課題名（英文）Development of nursing program for dementia patients admitted to general hospitals

研究代表者

三重野 英子 (MIENO EIKO)

大分大学・医学部・教授

研究者番号：60209723

研究分野：医歯薬学

科研費の分科・細目：看護学・老年看護学

キーワード：認知症、一般病院・診療所、認知症看護プログラム

1. 研究計画の概要

本研究は、一般病院・診療所において、認知症高齢者が認知症以外の疾患・外傷等の治療で入院した場合、安心して療養できるための看護プログラムの作成と有用性の検証を目的とし、段階的にすすめる。

- (1) 第1段階：患者・看護師双方の調査による一般病院・診療所での認知症看護の課題の明確化
- (2) 第2段階：一般病院看護師との協働による認知症看護プログラムの作成
- (3) 第3段階：認知症看護プログラムの適用と事例研究による有用性の検証

2. 研究の進捗状況

平成 20 年度～21 年度は第 1 段階の、平成 22 年度は第 2 段階の研究をすすめた。

(1) 第 1 段階の成果：

①患者側からみた看護の課題を明らかにするために、認知症の人と家族の会 X 県支部（家族会）の会員および X 県内の認知症対応型共同生活介護事業所（グループホーム）を対象に、一般病院・診療所での看護に対する評価について郵送法による質問紙調査を実施した。家族会調査の回答数は140名（52.0%）、グループホーム調査では54施設（51.9%）であった。両調査の結果、看護への期待として、「認知症高齢者に対する尊厳あるかわり」、「家族の思いを受けとめたかわり」、「付き添いを必要としない看護の工夫」、「看護・医療チームで一貫性のあるかわり」等があげられた。

②看護師側からみた看護の課題を明らかにするために、一般病院の病棟看護師を対象に、看護の実際について郵送法による質問紙調査を実施した。回答数は340名（62.5%）

であった。認知症看護の最重要課題として 8 割以上の者が、ゆとりある看護に向けた「人員確保」や「勤務体制の工夫」、「統一した看護」をあげていた。

(2) 第 2 段階の成果：第 1 段階の調査結果を再整理した上で、認知症看護認定看護師の資格をもつ看護師 2 名、一般病院において認知症高齢者の看護に関する研究実績がある看護師 1 名とともに認知症看護プログラム（試行版）を検討した。その結果、認知症看護プログラム（試行版）の骨格として、a. 入院初期に BPSD を予測し予防的看護介入を実施するために、入院時アセスメントから初期看護計画立案の方法を具体化すること、b. ゆとりある看護を行うにはマンパワーの確保の前に統一した看護の実施が重要であるため、チームケアに向けたタイムリーなカンファレンスのあり方を具体化することを明らかにした。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している

（理由）第 1 段階の研究では、研究者等の継続した地域貢献活動を基盤に、調査協力がスムーズに得られた。第 2 段階の研究では、認知症看護に高い専門性をもつ看護師の協力を得ることができ、討議を深めることが可能になった。

4. 今後の研究の推進方策

最終年度は、第 3 段階の研究に入る。認知症看護プログラム（試行版）の有用性を検証するために一般病院の急性期病棟をフィールドとした事例研究を行う。

協力を依頼する病棟の看護管理者は、第 2 段階研究での認知症看護プログラム（試行

版)の検討に参加した看護師であり、本研究の趣旨や結果を理解している。看護管理者との協力関係のもと、看護師スタッフとともに看護を実施し、データを収集する研究体制を整える。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計0件)

[学会発表] (計5件)

- ① E. Mieno, H. Kai, R. Suehiro, K. Hamaguchi、A. Yoshiwa, A Survey on practical nursing care for dementia patients admitted to general hospitals, 26th International Conference of Alzheimer's Disease International, 2011年3月28日、シェラトンセンターホテル(トロント・カナダ)
- ② 三重野英子、末弘理恵、甲斐博美、吉岩あおい、浜口和之、一般病院・診療所での認知症の人と家族に対する看護の課題ーグループホーム職員による看護の評価ー、日本認知症ケア学会第11回大会、2010年10月23日、神戸国際展示場(神戸市)。
- ③ 三重野英子、末弘理恵、甲斐博美、吉岩あおい、浜口和之、家族による一般病院・診療所での認知症の人と家族への看護に対する評価、日本認知症ケア学会第10回大会、2009年11月1日、東京国際フォーラム(東京都)。
- ④ 三重野英子、末弘理恵、吉岩あおい、浜口和之、特定機能病院における認知症高齢者の看護の実際と課題(第2報)ー全国特定機能病院の病棟看護師長に対する調査ー、日本老年看護学会第14回学術集会、2009年9月26日、札幌コンベンションセンター(札幌市)。
- ⑤ 末弘理恵、三重野英子、吉岩あおい、浜口和之、後藤美貴代、特定機能病院における認知症高齢者の看護の実際と課題(第1報)ーA特定機能病院の病棟看護師に対する調査ー、日本老年看護学会第14回学術集会、2009年9月26日、札幌コンベンションセンター(札幌市)。

[図書] (計0件)

[産業財産権]

○出願状況(計0件)

○取得状況(計0件)

[その他]